

令和6年度 小・中学校教育課程研究協議会に係る各部会の改善の重点

部会名

小学校 家庭科

改善の重点

- ① 題材において働かせる「見方・考え方」及び育成する「資質・能力」を具体化した2学年間を見通した題材指導計画ならびに評価計画を作成すること。
- ② 題材のまとまりの中で、児童の実態に応じた内容や活動を準備し、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決を図る問題解決的な学習を一層充実させること。

1 設定理由

小学校学習指導要領第2章第8節家庭の第3「指導計画の作成と内容の取扱い」には、「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、知識を生活体験等と関連付けてより深く理解するとともに、日常生活の中から問題を見いだして様々な解決方法を考え、他者と意見交流し、実践を評価・改善して、新たな課題を見いだす過程を重視した学習の充実を図ること。」とある。家庭科における資質・能力の育成に向けて題材ごとに見方・考え方を示し、題材を通して育むべき資質・能力を具体化して明記することが必要である。加えて、題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、指導と評価の一体化の視点から授業改善を進めることも求められており、2学年間を見通した指導計画ならびに評価計画が必要である。

家庭科における主体的・対話的で深い学びの実現のために、「課題設定の在り方」の研究を進める中で、児童の発達段階や家庭科の特質を踏まえつつ、実践的・体験的な活動を通して、問題解決的な学習に取り組むことが必要である。

2 研究を進めるに当たって

(1) 研究を進めるに当たっては、以下の点に留意すること。

- ① 「改善の重点①」については、2学年間を見通し、「どのような見方・考え方を働かせ、どのような資質・能力を育成するのか」を題材ごとに具体化し、指導計画に明記すること。また、評価計画については、内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法についても具体的に明記すること。
- ② 「改善の重点②」については、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定させること。また、学習指導要領解説に記載されている学習過程を踏まえ、他者と意見交流し、実践を評価・改善して、新たな課題を見いだす過程を重視し、題材及び授業を構想すること。

(2) 参考とすべき資料

- ① 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校家庭
(文部科学省 国立教育政策研究所教育課程研究センター 令和2年3月)
- ② 早わかり！単元計画作成手順～資質・能力の確実な育成のために～
(大分県教育委員会 HP <https://www.pref.oita.jp/site/gakkokyoiku/hayawakari-tejyunn.html>)